

<b>【技術の名称】</b> DKOM-RCS 構法 ーふさぎ板を用いた梁貫通型柱RC梁S接合部構法 ー	性能証明番号：GBRC 性能証明 第24-06号 性能証明発効日：2024年8月26日 <b>【取得者】</b> 大日本土木株式会社、株式会社加賀田組、 オリエンタル白石株式会社、松尾建設株式会社
---	--

### 【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート柱（以下、“RC柱”と称す）と鉄骨梁（以下、“S梁”と称す）で構成される混合構造の柱梁接合部をふさぎ板で覆い、S梁がRC柱を貫通する梁貫通形式のプレキャスト化を見据えた接合部構法である。十字形接合部では、構造実験で性能を確認した上で支圧板をふさぎ板で代用するディテールとしており、ト字形・L字形・T字形接合部では、支圧板を設置した上でふさぎ板で覆うディテールとしている。

また、柱梁接合部に接続するS梁に段差がある場合、S梁がRC柱に対して偏心している場合、柱梁接合部内のS梁ウェブをダブルプレートで補強する場合の対応を可能にしている。

### 【技術開発の趣旨】

本技術は、大型の物流倉庫・商業施設などの建築物を対象とし、鋼材納期や価格による全体工期や工事費の制約に対応する選択肢の一つとしてRC柱とS梁からなる混合構造建築物の設計・施工を可能とするため開発したものである。さらに、RC柱やRC柱S梁接合部をプレキャスト化することにより、天候に左右されることなく、高品質・高精度な部材製作、環境負荷低減、現場労務者不足の低減につながることをしている。

### 【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「DKOM-RCS 構法 設計施工指針・同解説」に従って設計・施工されたRC柱S梁接合部は、同指針で定める長期荷重時、短期荷重時および終局耐力時の要求性能を有する。

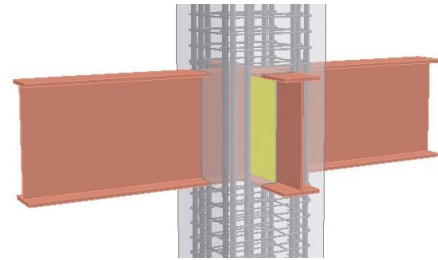


図-1 接合部パネルのダブルプレート補強

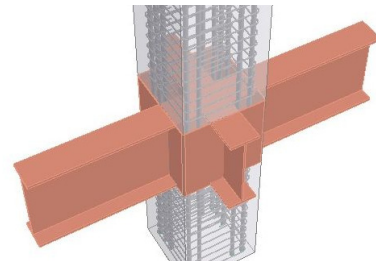


図-2 梁偏心接合部

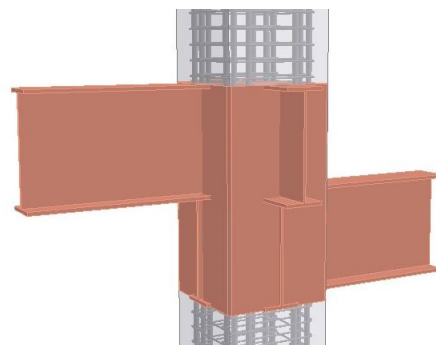


図-3 梁段差接合部

### 【本技術の問合せ先】

大日本土木株式会社 担当者：吉田 敏之  
〒110-0014 東京都台東区北上野 2-23-5 住友不動産上野ビル 2 号館 2F  
株式会社加賀田組 担当者：上塩入 利幸  
〒950-8586 新潟県新潟市中央区万代 4-5-15  
オリエンタル白石株式会社 担当者：内全 隆  
〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀 1-9-1 肥後橋センタービル 9F  
松尾建設株式会社 担当者：本山 定治  
〒840-8666 佐賀県佐賀市多布施 1-4-27

E-mail : toshiyuki\_yoshida@dnc.co.jp  
TEL : 03-5830-7418 FAX : 03-5830-7433  
E-mail : kamishioiri.toshiyuki@kagata.co.jp  
TEL : 025-247-5171 FAX : 025-247-8862  
E-mail : takashi.naizen@orsc.co.jp  
TEL : 06-6446-0209 FAX : 06-6446-0210  
E-mail : motoyama-jouji@matsuo.gr.jp  
TEL : 0952-25-4063 FAX : 0952-24-1282